

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 3	多様な担い手を育成する
重点施策ID	重点施策名
4 - 1 - 3 - 1	力強い担い手づくり

2. 事業名等	
事業名	畜産経営緊急安定対策事業
事業区分	③ ①新規 ②継続 ③その他（終了）
細事業名	
事業主体	市
実施形態	③ ①毎年 ②隔年 ③その他（単年度）
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務
実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 20 年度
根拠法規	豊後大野市畜産経営緊急安定対策事業補助金交付要綱
各種の計画への反映（＝根拠計画）	豊後大野市農業振興計画
事業ID	

3. 事業の内容等													
事業の背景	<p>畜産経営においては、飼料価格及び資材費等の高騰による生産費の増加に加え、畜産物価格の低迷により生産コストを価格に転嫁できない危機的状況にあるため。</p>												
補助事業	<table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td colspan="3">農林水産業構造改革緊急支援事業</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>国</td> <td>県</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1/</td> <td>1/</td> <td>1/</td> </tr> </table>	名称	農林水産業構造改革緊急支援事業			補助率	国	県	その他		1/	1/	1/
名称	農林水産業構造改革緊急支援事業												
補助率	国	県	その他										
	1/	1/	1/										
起債の種類	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table>	①		②		③							
①													
②													
③													

事業の目的及び対象	<p>【目的】 経営支援による生産意欲の向上と畜産経営の安定。 [対象]①当該年度の畜産経営に係る生産費が前年度と比べ増加した経費②大分県が実施する農林水産業構造改革緊急支援事業に係る経費の4分の1に相当する額。</p> <p>【対象】 畜産農家</p>	<p>事業概要 [補助率]肉用牛対策：保留導入牛1頭当たり25,000円、肥育対策：出荷牛1頭当たり10,000円、乳用牛対策：保留牛1頭当たり25,000円、養豚対策：出荷豚1頭当たり200円、養鶏対策：出荷鶏1羽当たり3円、農林水産業構造改革緊急支援事業費の4分の1に相当する額。</p>					
	<table border="1"> <tr> <th>前年度の評価</th> <th>評価結果に基づき見直した内容</th> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>終了</td> <td></td> </tr> </table>	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容	B		終了	
前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容						
B							
終了							

4. 予算・決算の状況		(単位：千円)						
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金				10,034			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計				2,604			
決 算	国庫支出金				10,034			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計				2,604			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
		<p>【実績】 肉用牛対策：263頭、肥育対策：46頭、乳用牛対策：53頭、養豚対策：8,050頭、養鶏対策：75,078羽</p>	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	助成額						
効率指標	-						
成果指標	① 補助対象農家戸数 ② 補助対象組織数						単位 戸、組織
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別				① ②			
目標値				142 1			
実績値				142 1			
達成率				100.0% 100.0%			
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	飼料及び資材費の高騰や畜産物価格の低迷等に対応するため、緊急的な支援が必要であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	経費の一部を行政が補助しており、代替手段が少ない。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	畜産農家の経営支援にきわめて高い効果がある。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	単年度での緊急対策事業のため、平成21年度は予算措置の必要はない。				
人 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	1	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	単年度での緊急対策事業のため、人員の配置は必要ない。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	B	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	単年度での緊急対策事業のため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	